



たかせ

No. 16 令和2年11月4日 保護者地域の声を学校へ

10月中旬～11月は…

かしこく成長する 『たかせの子』

学びの強調月間です！

前回の学校報は「スポーツの秋」「食欲の秋」ということで、「校内駅伝大会」「なべっこ会」についてお伝えしました。特に「校内駅伝大会」は、シャキットタイムとチャレンジタイムで、全校みんなで体力づくりに頑張ってきました。

これからは「学びの秋」ということで、10月中旬から11月末までの1ヶ月半を、「学習を今まで以上に集中して取り組む期間」にしたいと考えております。

具体的には、大きな二つの柱で行います。一つ目の柱は、反復・補充学習による子どもたちの「基礎学力の定着」を図ることです。家庭学習の質や量の吟味を図るとともに、朝学習の時間と「パワーアップタイム（4年生以上を対象に放課後の時間を活用して定着を図る取り組みです）」でじっくりと腰を落ち着けて取り組んでいく予定です。二つ目の柱は、「子どもたちにとって魅力ある授業をどのようにつくっていくのか」を、先生方全員で研修を深めていく取組です。10月までに4年生（算数）3年生（社会）1年生（算数）で授業を提示してもらい、全ての先生方で参観し、自分たちの授業に活かしていけることについて協議を行ってきました。さらに、この1ヶ月半の強調月間に三つの提案授業【2年（生活）6年（理科・算数）】を行い、さらなる研修をしていきたいと考えております。全ての先生方の力を結集し、子どもたちの学力を、一歩でも二歩でも前進させていきたいと考えておりますので、ご家庭でも家庭学習等の様子をご覧になっていただき、励ましの言葉をかけていただければと思います。よろしくお願いたします。



夢キラ反省会

10月26日（月）の「夢キラ反省会」にて今年度の夢キラの活動が終了しました。高評価だったこの活動を、この後も何かで披露できないかと学校でも考えているところですので、よいアイデアがありましたら教えていただければと思います。ご支援ありがとうございました。



【学びの強調月間 その1】



2年生 生活科 指導主事訪問

学びの強調月間の先陣を切って、10月20日（火）に、2年生「生活科」の指導主事訪問（どきどきわくわくまちたんけん パート2～まちの人ともっとなかよくなろう～）を織田恵子先生に行ってもらいました。指導主事訪問とは、校内の先生方だけで「魅力ある授業づくり」の研修を行うのではなく、秋田県教育庁南教育事務所の指導主事の先生（効果的な授業づくりについてアドバイスをしてくれる先生です）にも参加してもらい、さらに広い視点から研修を行うものです。今回来校していただいた長崎晋指導主事からは「同じところへ2回訪問したことにより、子どもたちには他の人たちに自分たちが体験したことや知っていることを伝えたいという強い思いが感じられた。発表した動画やフリップも素晴らしく、その後の質問にも自分たちの言葉で答えることができている。子どもたちの思いを先生がしっかりと受け止めてくれていたことの現れでもある。」との言葉をいただきました。地域のことを知るとてもよい学びとなったようです。子どもたちの頑張りのもとより、丁寧な対応をしていただいた「仙道給油所・JAこまち高瀬支所・阿専・阿部モータース・高瀬交番」等の地域の方々の支えによってよい生活科の勉強ができたものと思っております。本当にありがたく感謝の思いでいっぱいです。

【学びの強調月間 その2】



6年 理科 指導主事訪問

学びの強調月間 第2弾は11月2日（月）の6年生「理科」の指導主事訪問でした。「電気と私たちの暮らし」という単元で「電気は、作りだしたり蓄えたり、光、音、熱、運動などに変換したりすることができ、身の回りにはその性質や働きを利用した道具がある」ことを学習するものです。新しい学習指導要領が今年度からスタートし、各教科の中で「プログラミング教育（論理的に考えていく力を身に付けるための学習等のこと）」を実施していくことになりましたが、富沢章彦先生が今回の理科の授業でその「プログラミング教育」を取り入れた授業を提案してくれました。

授業を参観した指導主事の先生からは「指導主事訪問として初めて見ることでできたプログラミングの授業は、先進的な取組であった。大人がびくびくしてやれないようなことも、高瀬小の6年生は試行錯誤をしているレベルが違い、高いスキルを基にどんどん進めていてすごかった。学びの吸収力の高さから今後の可能性がさらに広がっている。」といったお褒めの言葉をいただきました。新たなことにどんどん取り組み、新たな壁もすいすいと越えていく6年生の姿にたくましさを感じました。今度は、11月26日（木）に算数の校内授業研究会がありますが、また新たな6年生と出会えることを楽しみにしています。

羽後町教育委員会訪問

10月21日(水)に、3名の教育委員の皆様と大久保教育長さんをはじめとした4名の教育委員会の皆様に、子どもたち及び学校環境について見ていただきました。授業参観後の懇談にて出された話題についてお知らせいたします。

- 町民歌が清々しく気持ちよく出迎えられた感じがした。子どもたちを見ると、地域に温かく見守れている感じがした。元気に授業に集中している様子に感心した。
- 小学校としては敷地も広く町内では環境のよい学校であると思う。広い空間をきれいに保持しながら使っており感心する。
- 聞くときには聞く、見るときには見るなど、授業中の子どもたちの態度が集中していてよい。中学校に行くと人数が増えて気後れするかもしれないが、頑張らせない。
- ▲挨拶で声を出すことにより自信につながる。スクールバスでの登下校は、地域と触れることもなく、学校としても指導の難しさがあるものと思う。挨拶のなさは自分の自信のなさでもある。
→コロナ渦の中、行事も行いにくいところであるが、地域の行事に参加することでオープンな人間形成を図ってほしい
- ▲高瀬小学校の特徴は「少人数」であることだが、今までは手をかけられすぎていたのではないか。
→10人ぐらいであれば、分からない子がいて黙っていても先生が教えてくれる。子ども自身がやってみようと思える課題でないといけない。教師は課題設定を吟味することが大切である。

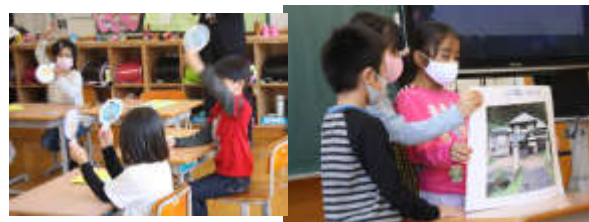
お話ししていただいたことを「自信」と「課題」にして、さらなる「魅力ある授業・学校」づくりに向けて、子どもたちと一緒に頑張っていききたいものと強く思いました。

校内のコマ

ハッピー・ワーク
ク・マーケット
(1・2・3年)



指導主事訪問 生活科(2年生)



指導主事訪問 理科(6年生)

